

# みたけ夢だより

7月号

横浜市立みたけ台小学校

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

## 大きくなあれ

校長 長尾 晴美

「葉っぱがたべられてる！」朝、東門にいた私に声をかけてきた女の子がいました。体育館脇からジャブ池まで並んでいる3年生が育てているハウセンカは、今、丈が10cmぐらいに育っています。彼女が指さす植木鉢をのぞいてみると、いたいた、真っ黒の体に黄色い斑点のある幼虫が葉の裏にぺったりとくっついていました。彼女にしてみたら大事に観察していた葉がちぎれているのに気づき、よく見たらなにやら芋虫がいたわけです。



「これはガの幼虫かも、葉っぱがたべられてしまったら大変だから取ろうね」と、彼女が見守る中、葉っぱから取り除きました。ハウセンカにつくセスジスズメガの幼虫のようです。毎日観察したり、水やりをしたりしていたからこそ、ちょっとした変化にも気づいたのでしょう。一番に知らせてくれたことがなんだか嬉しく、その日以来、何度か一緒に幼虫を取り除いたり、観察したりする時間がありました。

さて、みた小伝統の5年生の稲作は、先日、梅雨の晴れ間をぬって苗の植えつけが終わりました。今年も中島真一さんに土地をお借りし、村田範雄さんに苗作りから教わっています。村田さんには田んぼの師匠として御指南いただき、今年で15年目になります。

一歩入ると沈み込むような、田んぼの土の柔らかい感触に、今年の5年生もみな歓声を上げていました。ゆっくりと田んぼの中に入りながら、クラス毎に全員が一列に並び、植える苗を小分けにしなから、自分の持ち場にすっと植えていきます。どの子もそれぞれに田植えの感触をたしかめながら味わっているように見えました。



子どもたちが、等間隔に植えられるよう、印の付いたひもを張ったり、苗を手元へ補給するためにあぜ道から手渡しをしたり、お手伝いの保護者やサポーターの皆様に助けられて、無事今年の田植えを終えることができました。ご協力をありがとうございました。

今年も、1年生はアサガオを、2年生は野菜を育てています。6組には専用の畑に野菜が大きく育っています。自分が育てている植物の生長から、日々たくさんの発見があることでしょう。夏休みに入ってから、引き続き観察や植木鉢の運搬など、保護者の皆様にはご協力をお願いする事になりますが、どうか子どもたちの小さな発見のお手伝いや、励ましをよろしくお願いします。